

令和3年度 学校評価アンケート（教職員）



1	学校教育目標や学校経営方針，毎月の経営の重点を意識し，達成に向けて教育活動を実施することができた。	R2 R3	
2	学校教育目標と目標申告を関連づけて，自らが設定した目標の達成に向けて実践することができた。	R2 R3	
3	企画会（学年主任会）や三部会（知・徳・体部会），学年会が機能し，学校が組織的に運営されて，教職員協力の下で教育活動が実施された。	R2 R3	
4	各教科，道徳，外国語活動，総合的な学習の時間及び特別活動における年間指導計画や指導目標の達成に向けて実践することができた。	R2 R3	
5	各教科，道徳，外国語活動，総合的な学習の時間及び特別活動における適切な授業時数（標準授業時数）を確保し，実施できた。	R2 R3	
6	特別支援教育について校内支援体制を整えて共通理解を図ったり，児童の教育的ニーズを把握したりして支援の充実を図ることができた。	R2 R3	
7	基礎的・基本的な内容を確実に習得し，それを活用して問題解決をしたり，思考・判断・表現しようとする授業を展開できた。	R2 R3	
8	研修や国語で取り組んだ言語能力や表現力の育成を他の教科や領域でも活かして，言語活動の充実を図ることができた。	R2 R3	
9	学校図書館や図書館指導員，ICT，コンピュータ室やITアドバイザー，理科支援員やALTなどを効果的に活用した学習を進めることができた。	R2 R3	
10	地域の教育力の活用，体験的な学習や問題解決的な学習，児童の興味関心を生かした学習活動により学習効果を高めることができた。	R2 R3	
11	幼保小中高連携教育の推進により特色ある教育活動や，園児・児童・生徒及び教職員間の交流・情報交換により一貫性のある指導ができた。	R2 R3	
12	道徳の授業を確保するとともに，教育活動全体を通して道徳性を養い，道徳的実践力を持った児童の育成を図ることができた。	R2 R3	

13	いじめ、問題行動等が生じないような豊かな人間関係づくりに取り組むことができた。	R2 R3	
14	児童会活動において児童の主体的な活動を重視し、異学年交流やボランティア活動等を推進することができた。	R2 R3	
15	教育相談週間を活用した相談活動や日常的な会話及びふれ合いを大切に児童理解に努めることができた。	R2 R3	
16	特別支援教育について校内支援体制を整えて共通理解を図ったり、児童の教育的ニーズを把握したりして支援の充実を図ることができた。	R2 R3	
17	生徒指導上の問題について、生徒指導部や学年会での報告や相談をしながら、解決に向けて組織的にあたることができた。	R2 R3	
18	教科体育の充実及び日常の体育的活動を通して体力向上に向けて計画的・継続的に取り組むことができた。	R2 R3	
19	健康教育（日常の健康観察や保健・給食指導等）の推進による児童の自己健康管理能力向上のための取組を推進することができた。	R2 R3	
20	学校生活における危機管理意識を持った安全教育（交通安全・不審者対策・避難訓練）の推進を図ることができた。	R2 R3	
21	校内研修や自己の課題研修、校外研修や若年層研修会に進んで取り組み、指導力の向上を目指したり、職場のモラルアップを図ったりすることができた。	R2 R3	
22	職員会議や各種部会、研修会や学年会を円滑に実施して、共通理解や相互支援を図り、コミュニケーションや信頼関係を築いて、学校の組織力を高めることができた。	R2 R3	
23	授業参観や学校行事の公開、学校だより・学年だより、ホームページ・スクールメール等を通して、積極的な学校公開や情報発信をすることができた。	R2 R3	
24	懇談会や個人面談、各種配付物や連絡帳、学校行事や授業への参加・協力等を通して、保護者との連携を推進することができた。	R2 R3	
25	地域の人材（スクールボランティア・安全ボランティア）や学校評議員、幼保小中高連携、各種地域団体（町会や青少協、地区社協やゆいの会）や関係機関、学校開放等を通して、地域との連携を図ることができた。	R2 R3	
26	教室及び学校施設・設備の安全点検と環境整備、修理の申請等を適切に行い、安全で清潔な学習環境づくりに心掛けた。	R2 R3	